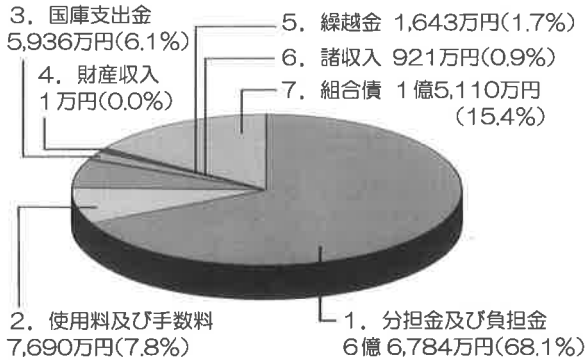


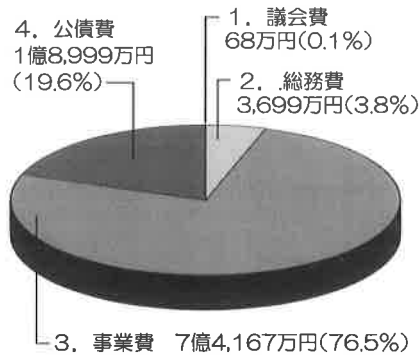


一般会計

《歳入》
計 9億8,085万円



《歳出》
計 9億6,933万円



公共下水道事業特別会計

歳入	金額
分担金及び負担金	2億4,871万円
使用料及び手数料	1億4,120万円
国庫支出金	2,324万円
繰越金	2,005万円
諸収入	75万円
組合債	1億3,440万円
歳入合計	5億6,835万円

歳出	金額
公共下水道事業費	2億1,456万円
銀山特定環境保全公共下水道事業費	2,310万円
田沢特定環境保全公共下水道事業費	362万円
公債費	3億1,530万円
歳出合計	5億5,658万円

公営企業経営健全化に係る
資金不足比率について

特別会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準
水道事業会計	—	20.0
公共下水道事業特別会計	—	20.0

水道事業会計

《損益計算書》

収益	金額	費用	金額
営業収益	4億5,170万円	営業費用	12億2,101万円
営業外収益	9億711万円	営業外費用	3,135万円
特別利益	0万円	費用合計	12億5,236万円
収益合計	13億5,881万円	当年度純利益	1億645万円

《貸借対照表》

資産	金額	負債資本	金額
固定資産	49億993万円	流動負債	25億4,783万円
流動資産	5億255万円	資本金	23億8,424万円
資産合計	54億1,248万円	剰余金	4億8,041万円
		負債資本合計	54億1,248万円

参考

- 当組合の水道事業会計及び公共下水道事業特別会計については、資金不足額がないため、資金不足比率については算定されませんので「—」と記載しています。
- 資金不足比率が、経営健全化基準以上となった場合は、経営健全化計画を定めなければなりません。当組合の水道事業会計及び公共下水道事業特別会計については、これを下回っています。

管理課 ☎(23)2161【内線20】

(%)